社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和08年11月09日

計画の名称	安全で安心な地域の交流拠点の形成
計画の期間	令和０３年度　～　令和０７年度　(5年間)　　重点配分対象の該当
交付対象	各務原市
計画の目標	公園利用者数の確保のため、老朽化した公園のリニューアルを行う。また、地域づくりの拠点となる公園の整備、バリアフリー化や利用者のニーズをとらえた公園の再整備を行う。 グリーンインフラ事業では、八木山周辺地区において公園、街路（歩道）、教育施設の緑化や緑陰形成、休憩機能の充実化を図り、地区内の歩行者数の増加、グリーンインフラ創出による 快適な歩行空間と休憩スポットの確保、地域コミュニティの活性化を図る。さらに、地区内に多発するゲリラ豪雨への雨水流出抑制として雨水貯留浸透施設を整備する。

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	2,395	A	2,395	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	誘致圏内人口の3%（街区公園以外の場合）、0.5%（街区公園の場合）を超える利用者数の確保			
	誘致圏内人口の3%（街区公園以外の場合）、0.5%（街区公園の場合）を超える利用者数を確保する。 利用者数/誘致圏内人口×0.03≧1、利用者数/誘致圏内人口×0.005≧1（計画策定時の利用者数を０として、整備後の上昇率を算定）	0%	%	100%
2	地区内の歩行者数の増加			
	地区内の歩行者数を増加させる。 公園、教育施設（休憩スポット）を通行する歩行者数（交通量）調査を実施する（土日の歩行者数を調査する）（計画策定時の歩行者数を０として、整備後の増加人数を算定）	0人/年間	人/年間	2400人/年間
3	グリーンインフラの創出による快適な歩行空間、休憩スポットの確保			
	グリーンインフラの創出による快適な歩行空間と休憩スポットを確保する。 公園、街路（歩道）、教育施設において暑さ指数（WBGT)を測定（計画策定時の暑さ指数を０として、整備後の温度変化に基づく暑さ指数を算定）	0℃	℃	-1℃
4	下水道施設への負荷軽減に資する公園・公共公益施設を整備したことによる設計処理量の確保			
	下水道施設への負荷軽減に資する公園・公共公益施設を整備したことにより設計処理量を確保する。 設計処理量=流出係数×降雨強度×面積	0m3/hr	m3/hr	1200m3/hr
5	市のシンボルとなる各務原市総合運動防災公園の整備			
	市のシンボルとなる各務原市総合運動防災公園の整備 各務原市総合運動防災公園の整備進捗率（整備進捗率=当該年度までの累計執行額÷総事業費×100）	0%	%	85%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000782657

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R03	R04	R05	R06	R07	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	各務原市	直接	各務原市	－	－	都市公園事業（各務原市民公園）	周辺エリアと一貫したリニューアル整備事業（園路広場、修景施設、休養施設等）6.5ha	各務原市					■	1,200	1.53	策定済
	A12-002	公園	一般	各務原市	直接	各務原市	－	－	都市公園事業（木曽川周辺地区（前渡地区））	地域づくりの拠点となる公園の整備(園路広場、修景施設、休養施設等)　2.9ha	各務原市	■	■	■	■		380	1.72	－
	A12-003	公園	一般	各務原市	直接	各務原市	－	－	グリーンインフラ活用型都市構築支援事業（八木山周辺地区）	バリアフリー化を含む公園整備と公共施設と公園の緑化に伴うグリーンインフラ創出(園路広場、修景施設、休養施設等)176ha	各務原市	■	■	■	■		244		策定済
	A12-004	公園	一般	各務原市	直接	各務原市	－	－	都市公園ストック再編事業（蘇原清住町地区）	利用者ニーズの変化及び老朽化した施設の整備に併せた、再編統合(園路広場、便益施設等)0.4ha	各務原市		■	■	■		103		策定済

案件番号：　0000782657

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R03	R04	R05	R06	R07	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-005	公園	一般	各務原市	直接	各務原市	－	－	都市公園ストック再編事業（鵜沼朝日町地区）	利用者ニーズの変化やバリアフリー化及び老朽化した施設の整備に併せた、統合再編(園路広場、便益施設等)1.1ha	各務原市			■	■	■	128		策定済
	A12-006	公園	一般	各務原市	直接	各務原市	－	－	総合運動防災公園整備事業	市のシンボルとなる公園の整備（修景施設、休養施設、便益施設等）0.3ha	各務原市			■	■	■	340	4.97	策定済
											小計						2,395		
											合計						2,395		

案件番号： 0000782657

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
各務原市役所都市建設部河川公園課において実施	R8年11月に実施
	公表の方法
	各務原市HPにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化した公園のリニューアルを行うことで、公園利用者数の確保ができた。また、バリアフリー化や利用者のニーズをとらえた公園の再整備により地域づくりの拠点となる公園が整備できた。グリーンインフラ事業では、八木山周辺地区において公園、街路、（歩道）、教育施設の緑化や緑陰形成、休憩機能の充実化を図り、地区内の歩行者数の増加、グリーンインフラ創出による快適な歩行空間と休憩スポットの確保、地域コミュニティの活性化を図れた。さらに、地区内に多発するゲリラ豪雨への雨水流出抑制として雨水貯留浸透施設を整備できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

今後は安心・安全な公園とするため、計画的な安全対策を行っていきます。

案件番号： 0000782657

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	公園利用者数の確保		
	最　終 目標値	100%	
	最　終 実績値	100%	
2	地区内歩行者数		
	最　終 目標値	2400人/年間	
	最　終 実績値	2400人/年間	
3	暑さ指数の低減		
	最　終 目標値	-1℃	
	最　終 実績値	-1℃	
4	公園等の雨水貯留量		
	最　終 目標値	1200㎥/hr	
	最　終 実績値	1337㎥/hr	
5	各務原市総合防災運動公園の整備率		
	最　終 目標値	85%	社会資本整備総合交付金では用地買収のみの実施となったため。
	最　終 実績値	20%	

案件番号：0000782657